

事務事業チェックシート

事務事業No 697 事業名 常設展示室整備事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	3	文化財の保護・活用
取組方針	2	文化財の活用

事業種別	継続	
事業期間	～	
事業実施の根拠法令	博物館法・和歌山市立博物館条例	
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	博物館	額田 雅裕 (423-0003)
関連課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		教育費	
	項		社会教育費	
	目		博物館費	
	大事項		博物館事業	
事項		常設展示室整備事業		

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする) ための事業か)	事業内容				
	和歌山市の歴史と文化の概要を、関係資料によって平易に示し、郷土文化への理解に供することによって、市民文化の向上に寄与する。	原始から戦後復興期までの和歌山市の歴史を、平易に展示しているが、パネル・カラーコルトン等の経年劣化に対応した整備を行うとともに、資料保存のために頻繁な展示資料の交換を行う。また、時宜に則したコーナー展示を、常設展示内の一角で、年間10回程度行い、常設展示に新鮮味を与える。				
実施内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	個性ある地域文化の創造に関し、市民に適切な状態の博物館施設を提供するとともに、博物館展示活動の核である常設展示を開催する。	個性ある地域文化の創造に関し、市民に適切な状態の博物館施設を提供するとともに、博物館展示活動の核である常設展示を開催する。	個性ある地域文化の創造に関し、市民に適切な状態の博物館施設を提供するとともに、博物館展示活動の核である常設展示を開催する。	個性ある地域文化の創造に関し、市民に適切な状態の博物館施設を提供するとともに、博物館展示活動の核である常設展示を開催する。	個性ある地域文化の創造に関し、市民に適切な状態の博物館施設を提供するとともに、博物館展示活動の核である常設展示を開催する。	

2 事業コスト

事業費等 (千円)	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	840	549	140	249	259	319	216			
伸び率 (%)	-	-	▲83.3%	▲54.6%	85.0%	28.1%	▲16.6%	▲100.0%	▲100.0%	-
人件費	正規職員	3,674	2,997	3,674	2,579	2,579	2,697	2,697		
	正規職員以外	0	1,193	0	609	609	566	566		
	小計	3,674	4,120	3,674	3,188	3,188	3,263	3,263		
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他	63	28	63	30	28	23	35			
一般財源 (税等)	777	549	138	219	231	296	181			
所要人数 (人)	正規職員	0.49	0.40	0.49	0.35	0.49	0.35	0.35		
	正規職員以外	0.00	0.23	0.00	0.33	0.33	0.29	0.29		
主な予算内訳	館蔵資料写真撮影費81千円等									

3 目標及び実績

指標名	単位	目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標 コーナー展示の回数		目標値	10	10	10	10	
		実績値	10	10	10		
		達成度 (%)	100.0%	100.0%	100.0%		
成果指標 リニューアル前後での入館者の増減率	%	目標値	2,824	2,824	2,824	2,824	
		実績値	3,350	2,705	2,918		
		達成度 (%)	118.6%	95.8%	103.3%		
成果指標 常設展示室整備率 (達成面積/常設展示面積)	%	目標値	1.5	1.5	1.5	1.5	
		実績値	1.5	1.5	1.5		
		達成度 (%)	100.0%	100.0%	100.0%		

4 事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)		達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	当館は、開館以来常設展示室のリニューアルを行っていないため、国・県補助や寄贈品により、展示物にメリハリをつけ広報など職員の努力で来館者に興味を持っていただいているため入館者数が微増にもたれている。
見直し・改善内容	開館以来常設展示室のリニューアルを行っていないため、パネルやカラーコルトンの褪色が激しく、キャプションなども不統一で見にくいため、中規模程度の展示替リニューアルをする必要がある。